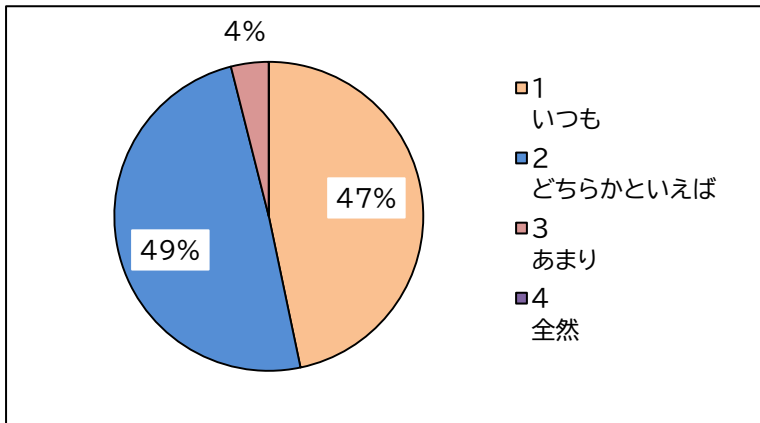


種市中学校チャレンジ目標（ターゲット7）

学校評価アンケート結果（保護者）

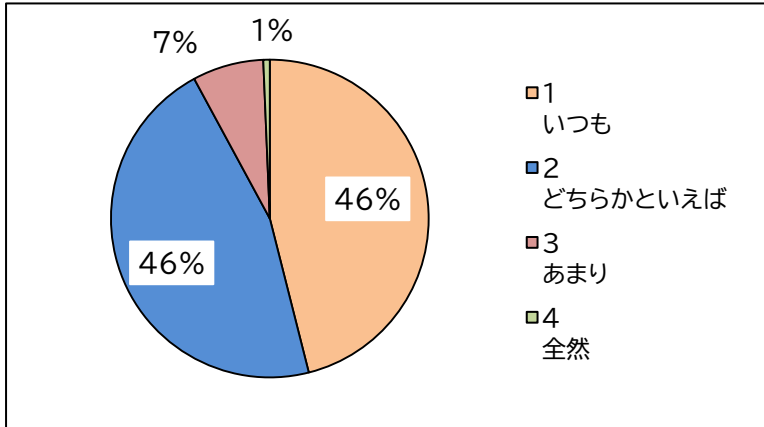
ターゲット1 子どもを観察し、できたことを認め、愛情をもって接していますか



子供への関心が非常に高く、温かく接している家庭がほとんどであることがわかった。

子供の成長やできたことを認め、誉めるということは、子供の自尊感情を高めることにつながります。自尊感情を高め、自信をもって将来の目標に向かっていけるようにこれからも学校と家庭が協力してよりよい成長につながるようにしていきたい。

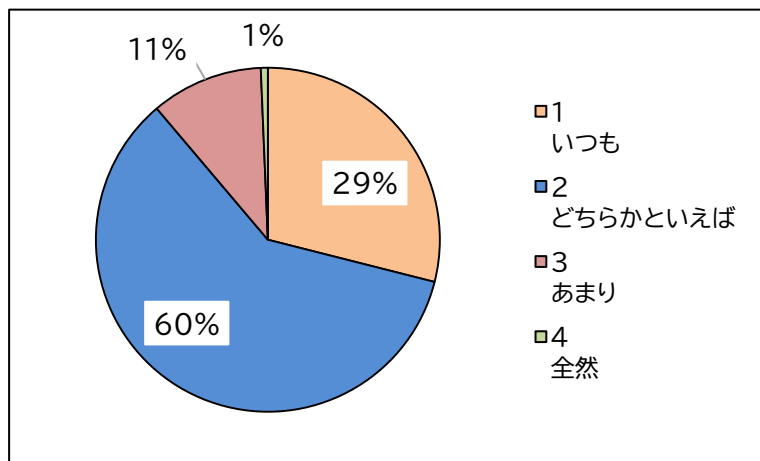
ターゲット2 学校(授業)の様子やテスト結果等に注目し、励ましを続けていますか



テスト結果が出た後に次に（も）がんばろうと意欲を持てるように励ましている家庭が90%以上あることはとても良いことである。

今後は点数の増減だけにとらわれず「どこができているか」「どこでつまづいているか」にも注目して声かけをしてもらえると更に学習意欲が向上すると思われる。

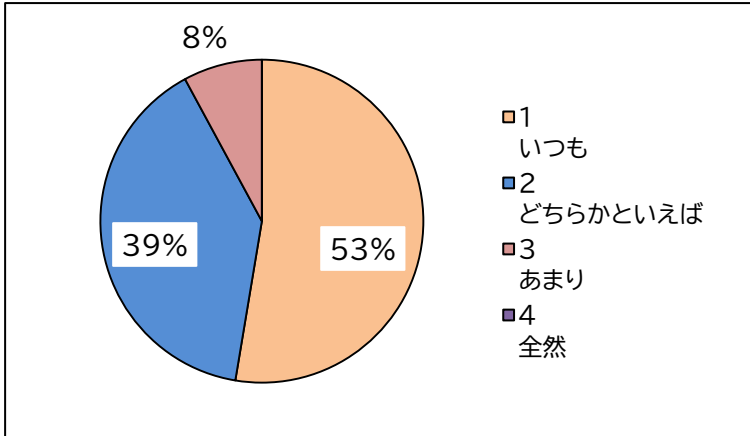
ターゲット3 家庭内の学習環境を整え、家庭学習を支援していますか



学力向上も家庭の協力なしでは成し遂げることができないため90%程度の肯定的回答を得たことはとても良かった。

授業と家庭学習の連動を考えながら指導をしている所なので、今後もこの取組を継続しながら、学力が向上できるように努めていきたい。

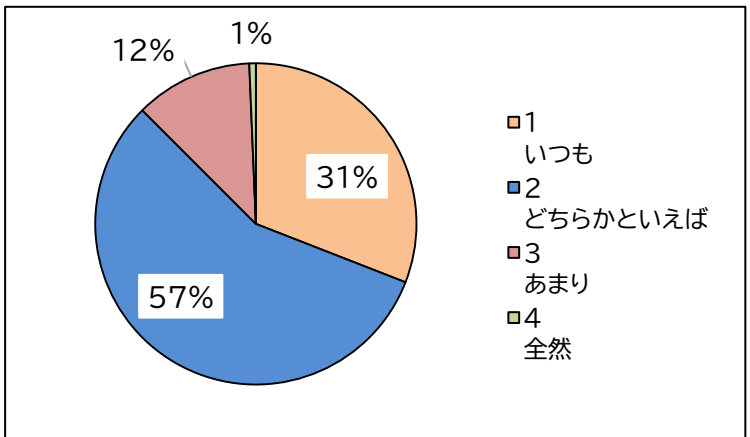
ターゲット4 授業参観や学校行事に参加し、子ども(学校)の様子を把握に努めていますか



こちらも肯定的な回答 90%以上であった。本年度は 2 学期に授業参観を 2 回実施したが、どちらも出席率が高く、学校への関心の高さが伺えた。

本年度は PTA 活動がかなり縮小された形となったが、来年度はほぼ通常通りに運営されると思われるのでこれまで同様の協力をいただきたい。

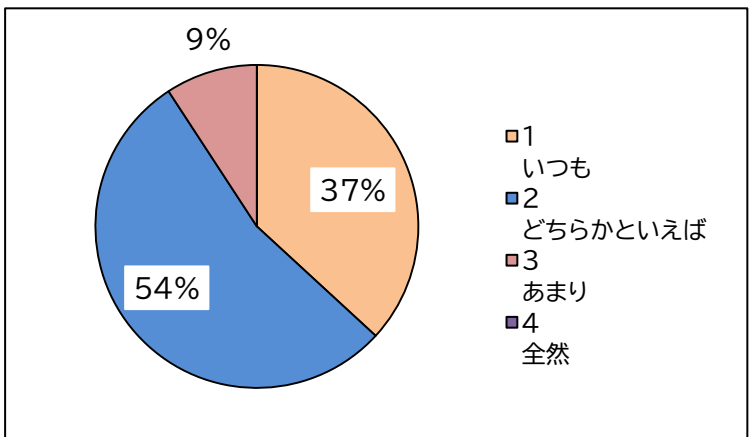
ターゲット5 家庭で夢や希望、将来のことを話題にして、共通理解を図り応援していますか



将来について子どもがどのように成長していったほしいかを家庭で話し合っておくことはとても重要である。「親の願い」をきちんと子どもに伝えておくことで、将来どのように生きていくのかの大きな指標となるからである。

多少、否定的な比率が多かったので、学校からも家庭で話し合いができるような手立てを仕組んでいきたい。

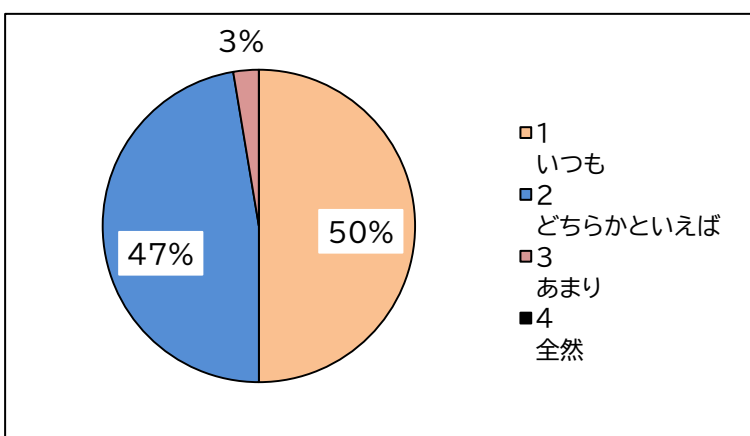
ターゲット6 子どもの様子を観察し、話に耳を傾け、良き相談相手になっていますか



学校でも重点的に取り組み、学級・学年の先生も常に相談にのる体制をとるようにしている。同じような姿勢で子どもに接しているとの回答を多く得られたことは良かった。

学校、家庭それぞれで得た情報を共有しながら生徒の不安や悩みを解消していくことが大切なので、これからも協力関係を強く持っていきたい。

ターゲット7 社会の一員としてのルールを守る指導を家庭内で行っていますか



「しつけ」の部分にかかわることなので、日常的に指導している家庭が多いと思われる。

課題としては「挨拶」があげられる。記述欄にも挨拶をもっとよくしてほしいとの要望を記入してくる家庭もあった。自分に関わる人や地域の方々にも分け隔てなく、挨拶ができるように家庭でも指導をしてもらいたい。